

実父、早世した世子墓



- 藩主墓に比べ、霊屋がない
- 墓塔の規模は同じ
- 通常であれば実父墓は藩主が建てる。であれば右側の高政(高和実父)墓は藩主墓域と分けることを念頭に建造
- 高政墓のみ基礎が半分低い。多度津藩主墓を含め、これのみ異なる。微妙な階層差を反映?

多度津藩主墓

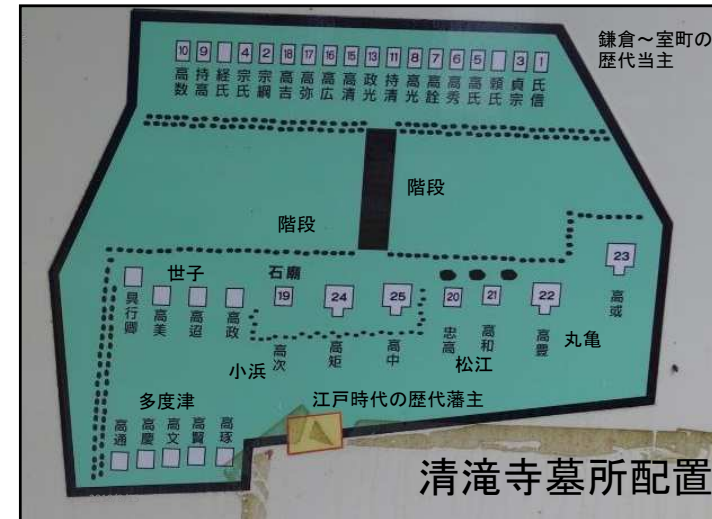


- 丸亀藩主墓に比べ、霊屋がない。
- 墓塔の規模は同じ
- 高和墓に比べ、専用墓道がない
- 実父、世子墓に比べ、礫敷き基壇がない

歴代墓



左端が京極道誉(バサラ)墓
基礎に建立日?没年と異なる



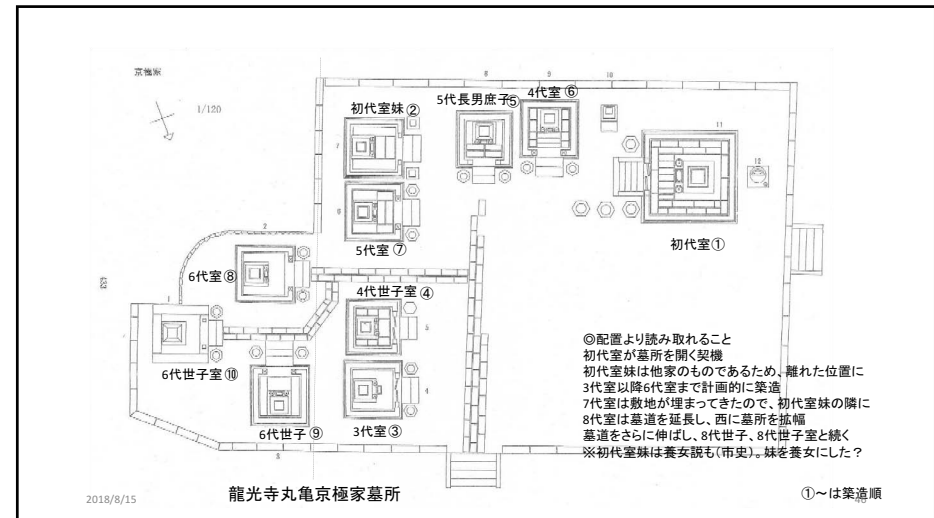
- 整備した歴代墓を参道奥の高段にまとめる
- 高或墓まで歴代墓参道前を避けていた
- 地位により墓位置も歴然とわかる

龍光寺(文京区)

- 寛永9年(1632)に龍野京極家により開かれる
- 江戸での京極家の菩提寺
- 丸亀藩3~6代の各室、早世した世子及びその室の墓
- すべて位牌型で、霊屋がない(現存しない)
- 初代室の供養塔(特殊な宝篋印塔で、規模も大きい)
- (江戸大名墓総覧)
- 初代室の開基という説もある(市史)。供養塔の理由か？

2018/8/15

45



2018/8/15

①～は築造順

光林寺(港区)

- 延宝6年(1678)麻布兵衛町に創建。後に現在地に移転。開基は高和室養性院殿
- 初代室、2代室、天祐(2代男、童子、祐次郎)
- 傘塔婆、卵塔型、五輪塔と様々だが、石門、石扉、石段、基壇と扱いは3者とも同じ
- 他に30基程の石塔が並んでいたが、塔身のみまとめて整理
- 初代高和の養子、多度津藩初・4代藩主墓ほか。すべて傘塔婆。京極家の一族墓所？
- 多度津藩3・5代は玄要寺(丸亀)が本墓。初~5代とも清滝寺に供養墓
- 丸亀及び多度津藩の最後の藩主(廃藩置県で東京移住。以後京極家全体の墓所)
- (江戸大名墓総覧)

2018/8/15

47

高野山

- 高野山(納骨信仰)にも供養塔があるとされる
- 高次夫人分骨塔(生駒・山崎・京極史談)

2018/8/15

48

京極家の墓所

- 主要墓所4か所の使い分け
- A.清滝寺(本貫) →藩主(当主)、世子等
- B.玄要寺(国元) →国元で死去した藩主
- C.龍光寺(江戸) →江戸住まいの室、世子等
- D.光林寺(江戸) →江戸で死去した多度津藩主及び京極家一族

2018/8/15

49

埋葬地における格差

- 丸亀藩主 →清滝寺 頂点
- 丸亀藩主室・世子等 →龍光寺
- 多度津藩主 →光林寺
- 但し、
- 男女による格差 →丸亀藩主世子等・多度津藩主は清滝寺に供養塔
- 丸亀藩主世子等・多度津藩主は清滝寺での配置でも格差

2018/8/15

50

墓の形態による格差

- 清滝寺
- 丸亀藩主 →霊屋、宝篋印塔
- 丸亀藩主世子等 →宝篋印塔だが、霊屋なく礫敷き基壇
- 多度津藩主 →宝篋印塔だが、霊屋も礫敷き基壇もない
- 江戸・国元
- 多度津藩主 →傘塔婆
- 丸亀藩主室・世子等 →位牌型
- 18世紀初めまでは多様な中世起源の墓塔形(五輪塔や卵塔も)

2018/8/15

51

龍光寺と光林寺

- 寛永9年(1632) 龍光寺創建(龍野時代)。丸亀時代にも変わらず
- 延宝5年(1677) 光林寺に初代藩主養子墓築造(創建後の改葬?)
- 延宝6年(1678) 光林寺創建
- 元禄2年(1689) 光林寺に初代室を埋葬。その後も男子や2代室墓等築造。光林寺は一族墓的な様相
- 元禄14年(1701) 龍光寺に初代室供養塔を築造(13回忌)
- 享保13年(1728) 龍光寺に3代室墓を築造。以後幕末まで丸亀藩主室・世子等の墓所
- 光林寺は多度津藩主墓が築造されるなど、格としては下のように見えるが、墓型は傘塔婆型(光林寺)が位牌型(龍光寺)より上。或いは墓地整理前の光林寺は広大な墓所に多度津藩主以下傘塔婆型の墓が整然と並んでいた?
- 明治12年(1880) 光林寺に多度津京極家の女子の墓。以後両藩最後の藩主を含む京極家全体の墓所(一族墓であるため使いやすい?)

2018/8/15

52

5 まとめ

- 生駒家・山崎家墓所に見る中世的様相(お家騒動等による改易で未発展)
- 17世紀代には寺院や塔頭寺院に由来する御霊屋の造営こそが大名墓の特質であり、大名の法名の院号や道号を冠した寺院や霊廟が数多く建てられた(関根達人)
- 江戸か国元かという以前の、戦国期の名残(讃岐ではなく、京都に一族墓所)
- 墓形は五輪塔を主体
- 京極家墓所に見る完成された大名家墓所(幕末まで転封のなかった結果)
- 清滝寺には石廟や霊屋、集積された当主墓群(元は墓とセットの当主の法名を持つ寺院があった)という中世以来の様相
- 本貫・江戸・国元に墓所を形成(大名家でも本貫に埋葬は珍しく、その分国元に本格的に墓所が形成されなかつた)
- 宝篋印塔(中世)を主体にしなが傘塔婆型・位牌型の使用(江戸から流行)
- 埋葬地及び墓の形態により、藩主以下一族に至る格差を示す

2018/8/15

53

ご清聴ありがとうございました

次回、高松松平家編、来年公開か、乞うご期待

2018/8/15

54